

基本情報	
時間割コード / Course Code	101794
開講区分(開講学期) / Semester	春～夏学期
曜日・時間 / Day and Period	火3
開講科目名 / Course Name (Japanese)	日本語教育学演習a
教室 / Room	日本語実
開講科目名(英) / Course Name	Seminar in the Teaching of Japanese as a Second Language a
定員 / Capacity	0
ナンバリング / Course Numbering Code	10FOST3BR01
単位数 / Credits	2.0
年次 / Student Year	3,4年
担当教員 / Instructor	真嶋 潤子

[授業担当教員一覧](#)

詳細情報	
講義題目 / Course Name	日本語教育のための模擬教壇実習
開講言語 / Language of the Course	日本語
授業形態 / Type of Class	実技科目
授業の目的と概要 / Course Objective	日本語の授業を組み立て、教壇に立つための基礎的な知識や教育活動の基礎を学ぶ。前半は媒介語のない状態での教室作業を多様な言語を教えることを実習し、後半には日本語の教科書を使った日本語初級文型を教えるための実習を行う。実習はビデオ録画し、実施者が事後に閲覧できるようにする。授業中には他の学生は、実施者へのコメントを書いてフィードバックする。
学習目標 / Learning Goals	初級日本語教育の基礎的な技法を身につけることができる。学習者の立場に立って、直接法で外国語を指導する際の留意点が理解できる。プロの日本語教員になるために、自分に何が必要なのか考える機会を得ることができる。
履修条件・受講条件 / Requirement / Prerequisite	「日本語教育学入門a, b」、「日本語・日本文化を考えるD」、「日本語教育学概論」のいずれかを履修済みで、日本語教育学の授業（「外国語教育」を含む）をなるべく多く履修していること。 日本語教育のプロを目指す受講生を想定している。 「日本語教育実習」の履修のために必要な準備科目である。
授業計画 / Class Plan	従来の内容は、「日本語教育の現場で教育実習をする前段階として、前半では日本語以外の言語を使って、受講生全員がマイクロティーチングの形で模擬教壇実習を行い、お互いにコメントを加え、どのような指導が有効かを考え、教室での指導技術を身につける。後半には、教える内容を日本語初級文型にする。マイクロティーチングの様子は、ビデオ録画をし、発表者が後で見られるようにする予定である。」ということであったが、今学期はコロナ対応で、対面授業ができないので、内容を変更する。 詳細は、CLEIに説明文をアップする予定。 「日本語初級の会話授業のポイント」を抑えた後、「オンライン授業」について、考えていくことに変更する予定である。今学期全授業をオンラインで行うことにした場合の暫定的計画は以下の通り。
授業外における学習 / Independent Study Outside of Class	第1回 オリエンテーション 第2回 初級の(対面)授業のDVD視聴とその特徴について 第3回 初級のコミュニケーションのための授業の特徴 第4回 初級の「楽しいコミュニケーションのための授業」の準備について 第5～10回 オンライン授業の色々 第11～14回 みんなの調査結果の報告と討議 (それまでにオンライン授業の調査をする) 第15回 総括 今学期は対面授業での模擬教壇実習はできなさそうである。 しかし、第二言語としての日本語の授業で「優秀な教員」というのは、どんな資質を持ち、どんな経験をし、またどんなことを心がけているのだろうか。受講生は、先輩たちの日本語教育実習の記録(毎年の日本語講座年報や実習報告書など)を見ておくと良い。 プロの授業のビデオを見て考察すること他に、現在のような対面授業ができない状況での「より良いオンライン授業のあり方」について考えたり調べたりしてほしい。授業外では、e-learningやオンライン授業を試したり、調べたりしてレポートしてもらうことも考えている。 「良い言語教育の授業」「わかりやすい授業」「楽しい授業」の条件を考え、自己研鑽してほしい。対面授業が可能になったら、例年の模擬教壇実習の良いところを経験してもらいたいと考えている。
教科書・教材 / Textbooks	授業で紹介する。
参考文献 / Reference	『日本語教師のための「授業力」を磨く30のテーマ』河野俊之、小河原義朗著(2006)アルク 『日本語の教え方ABC-「どうやって教える?」にお答えします』寺田和子他著(1998)アルク 『日本語教科書の落とし穴』新屋映子他著(1999)アルク 『日本語教授法ワークショップ 増補版』(2007)凡人社 これ以外は、授業中に指示する。
成績評価 / Grading Policy	模擬教壇実習60%と授業40%を総合して評価する。 全出席を原則とし、欠席は減点対象とする。この授業は出席しなければ受講する意味が全くない。
コメント / Other Remarks	コロナ対応のため、オンラインzoomでの授業を計画している。履修希望者は(迷っている人も)、まず履修登録して、CLEの「コンテツ」のところを見て欲しい。(取らない人は、取り下げ期間に止めることができる。)初回4/14は無理な人も、4/21にはzoomでモデル授業のビデオを見る予定なので、zoom参加してほしい。問題のある人は、個別に連絡・相談してほしい。(真嶋またはTA中村まで。)
特記事項 / Special Note	コロナ対策としてzoom授業を計画していますが、事情があって参加できない場合は、個別に連絡してください。<jmajima@lang.osaka-u.ac.jp>もし何かのIT関連のトラブルで参加できないような場合は、その日該当する教科書の1章分のまとめと自分の考察を書いた小レポートの提出等で、柔軟に対応します。
実務経験のある教員による授業科目 / *	東京の専門学校、アメリカの州立大学、ドイツの言語研究所等で日本語教育に携わってきた実務経験のある教員が指導します。

授業担当教員		
教員氏名 / Instructor Name	所属・職名・講座名 / Affiliation, Title, Course	e-mail / E-mail
データがありません		

学生への注意書き